

2026年(令和8年)  
3月11日 水曜日  
第2005号

# 京都自動車新聞



京ト協表彰式&物流ゼミ 2  
総整備売上高が4年連続増 5  
J U京都 商組設立48周年記念A A活況 7  
車体近畿青年部 ブロック大会初開催 8  
◀京都ダイハツ 五輪元代表招き陸上教室 6

発行所 京都自動車新聞社 京都市伏見区竹田向代町 51-5 (京都自動車会館内) 電話 (075) 672-0552 ファクス (075) 682-0205 メール access@kyotojidoshanp.jp https://kyotojidoshanp.jp

## トレンドを追う⑤

### 自動車業界と行政の架け橋に

昨年6月、改正行政書士法が議員立法で成立し、今年1月1日に施行された。業務制限規定の趣旨が明確化され、違反した場合は違反者のみならず法人も罰せられる罰則規定が新たに盛り込まれた。登録車、軽自動車を含めて年間8万台以上の販売規模を誇る府内の需要に、行政書士業界は対応できるのか。法改正の真の狙いと販売、整備事業者に求められる今後の対応について、京都府行政書士会のトップ、太田光三郎会長が語った。

京都府行政書士会

会長 太田光三郎氏



法改正の目的は「コロナ禍に行政書士、もしくは行政書士法でない者が、給付金等の代理申請を行い、多額の報酬を受け取っていたことが、法改正の背景にある。『会費』『手数料』『コンサル料』など、いかなる名目であっても、無資格で対価を受け取り、官公署に提出する書類を作成すること、法律に違反する」

「改正前の具体的な違いについて」「今申し上げたことは、改正前も同様に違反であったが、より明確化された点に注目してもらいたい。車庫証明申請や自動車登録業務でも、これまでグレーゾーンだった部分の適正化が、自動車業界に求められる」

「また、違反した場合、行為者を罰するだけでなく、その法人に対しても罰金を科する罰則規定が整備された点も大きな違いだ。社員だけでなく、企業や代表者にも責任が及ぶ重い罰則規定に、抑止力の発揮が期待されている」

「京都府行政書士会としての対応は」「自動車販売店や関連企業の皆さんは、改正法に対して不安をお持ちだと思いが、現場で混乱が生じないように、われわれ京都府行政書士会では、ご要望に応じて説明会を開催するなど、しっかりと対応していく考えだ」

「2月5日には、京都府自動車販売店協会から依頼を受けて、会員メンバーの皆さま向けの説明会を行い、多くの方々に参加いただいた。主な改正点に加えて、書士法違反と考えられる具体例を挙げながら説明を差し上げたので、理解が深まったと感じている」

「府内の行政書士だけでは全件に対応できないとの声もあるが」「そのような心配は必要ない。当会に所属する1008人の行政書士に加えて、必要なだけ補助員を増やすことで、府内の需要に対応できる」

「最初の移行期間は若干の不便をおかけする場面もあるかもしれないが、年間どれぐらいの案件が発生するのか先に教えてもらえば、必要なキャパシティを用意することは決して難しくない。そのあたりはぜひ、お近くの行政書士にご相談いただきたい」

「十分な改善が見られない場合は」「よほど大きな犯罪でなく限り、いきなり違反者が逮捕されるようなこととはならないだろう。警察も、まずは指導から始めるはずだ」

「違反行為が繰り返され、常態化しているようであれば、しかるべき対応が必要になるが、そうならないようにわれわれが周知徹底を図っていく。『知らなかった』では済まされないのだから、その点だけは十分に注意いただきたい」

「今後について」「われわれ行政書士が目指すのは、自動車業界の皆さんとの共存共栄に他ならない。皆さんの役に立つような知識をしっかりと身に付け、専門的なアドバイスやサポートを行っていききたい」

「事業所のお近くの行政書士を頼っていただき、良い関係ができていけば、より細く要望にお応えしていける。若くフットワークの軽い行政書士も多くいるので、遠慮なく使ってほしい」

### 岩本副理事長が受賞

#### 京都府優秀技能者表彰

岩本宏成氏(岩本自動車工作所社長、京都府自動車車体整備協同組合副理事長)が、京都府優秀技能者表彰を受賞し、1月28日に京都ガールズパレス(上京区)で開かれた表彰式に招かれた。

隆俊京都府知事から表彰状が手渡されると同時に、「京都府の現代の名工」の称号が与えられた。自動車車体整備士としての高い専門技術に加えて、検定試験の検定員や技術講習会の講師を長く務め、後進の育成に取り

組んできた功績が、受賞理由に挙げられている。表彰を受けた岩本副理事長は「言うまでもなく、この称号は組合にいただいたもの。自分は、偉大な先輩たちに近づくこととしてきたに過ぎない。その教えが一つでも後輩に伝わるよう、これまで以上に精進したい」とし、組合の教育事業あつての受賞である点を強調した。

「22年には取得率が極めて低い一級工場板金技能士(打ち出し板

金作業)も取得した。また、学びたい技術があると聞けば、場所を問わず全国に出向き、先人から指導を仰ぐことも珍しくない。そして、個人的に学んだ技術を講習会で惜しみなく若手人材に伝えている。

「常に変わらない強い向上心の源は、「車体整備は終わりが無い仕事。難しいほど、やりがいも大きいからだ」という。技術を極める楽しさが若い世代に広がり、「業界の底上げにつながれば」と願っている。

「一方、技術を追求する

岩本副理事長は妻の真

技術講習会の講師を長く

務め、後進の育成に取り

組んできた功績が、受賞

理由に挙げられている。

表彰を受けた岩本副

理事長は「言うまでも

なく、この称号は組合

にいただいたもの。自

分は、偉大な先輩たちに

近づくこととしてきた

に過ぎない。その教え

が一つでも後輩に伝

わるよう、これまで

以上に精進したい」と

し、組合の教育事業

あつての受賞である

点を強調した。

「22年には取得率が

極めて低い一級工場

板金技能士(打ち出し

板

金作業)も取得した。

また、学びたい技術

があると聞けば、場所

を問わず全国に出向

き、先人から指導を

仰ぐことも珍しくな

い。そして、個人的

に学んだ技術を講習

会で惜しみなく若手

人材に伝えている。

「常に変わらない強

い向上心の源は、「車

体整備は終わりが無

い仕事。難しいほど

、やりがいも大きい

からだ」という。技

術を極める楽しさが

若い世代に広がり、「

業界の底上げにつな

がれば」と願ってい

る。

一方、技術を追求す

る姿勢に妥協はなく、

常に努力を惜しまない

のが、岩本副理事長の

スタンスだ。「自分の

技術がどの程度のも

のか、腕試しをした

かった」と思いで出

場した車体整備業

界初の競技大会「B

Pグランプリ2013」

で、钣金部門全国3

位に入賞。スキルの高

さを証明してみせた。

22年には取得率が

極めて低い一級工場

板金技能士(打ち出し

板

金作業)も取得した。

また、学びたい技術

があると聞けば、場所

を問わず全国に出向

き、先人から指導を

仰ぐことも珍しくな

い。そして、個人的

に学んだ技術を講習

会で惜しみなく若手

人材に伝えている。

「常に変わらない強

い向上心の源は、「車

体整備は終わりが無

い仕事。難しいほど

、やりがいも大きい

からだ」という。技

術を極める楽しさが

若い世代に広がり、「

業界の底上げにつな

がれば」と願ってい

る。

一方、技術を追求す

る姿勢に妥協はなく、

常に努力を惜しまない

のが、岩本副理事長

のスタンスだ。「自分

の技術がどの程度の

ものか、腕試しをし

たかった」と思いで

出場した車体整備

業

界初の競技大会「B

P

グランプリ2013」

で、钣金部門全国3

位

に入賞。スキルの高

さを証明してみせた。

22年には取得率が

極めて低い一級工場

板金

技能士(打ち出し板

金

作業)も取得した。

また、学びたい技術

があると聞けば、場所

を

問わず全国に出向

き、

先人から指導を仰

ぐこ

とも珍しくない。そ

して、個人的に学

んだ

技術を講習会で惜

しみ

なく若手人材に伝

えて

いる。

「常

に変わらない強い

向上

心の

源は、

「車

体

整備

は

終わ

りが

無

い

仕事

。難

しい

ほど

、

やり

がい

も

大

き

い

か

ら

だ

と

う

。技

術

を

極

め

る

楽

し

が

若

い

世

代

に

広

が

り

、

「

業

界

の

底

上

げ

に

つ

な

が

れ

ば

」

と

願

い

っ

て

い

る

。

一

方

、

技

術

を

追

求

す

る

。

組

ん

で

き

た

功

績

が

、

受

賞

理

由

に

挙

げ

ら

れ

て

い

る

。

表

彰

を

受

け

た

岩

本

副

理

事

長

の

ス

タ

ンス

だ

。「

自

分

は

、

偉

大

な

先

輩

た

ち

に

近

づ